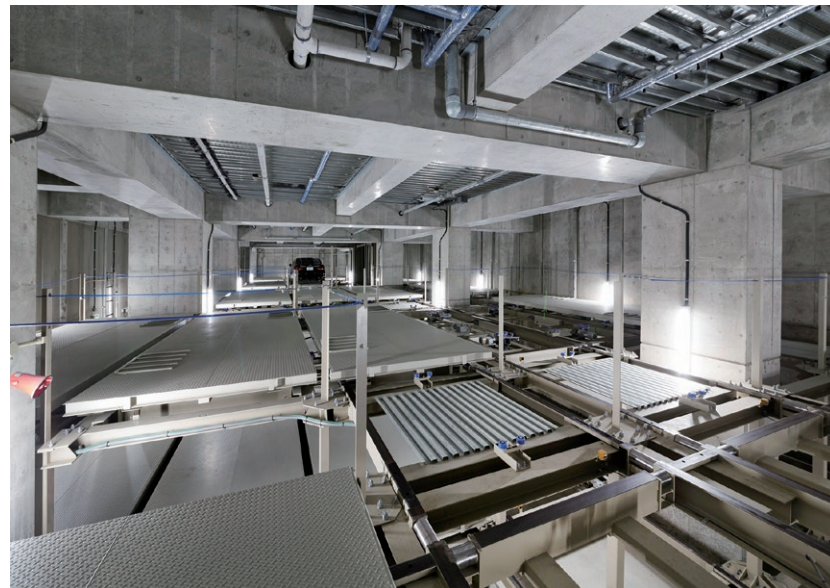
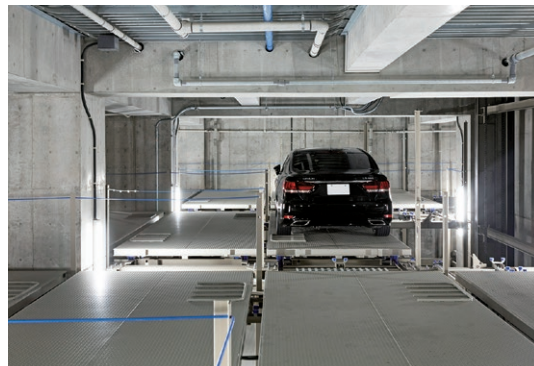
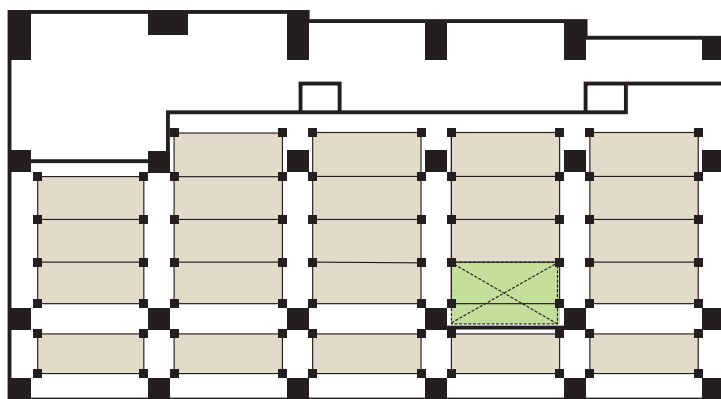




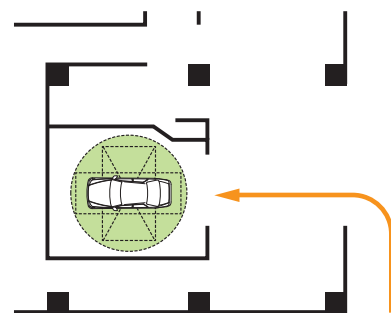
2層・41台駐車スペース（写真は上層）



構造体を避けたレイアウト



据付階平面図



乗込階平面図

最新の安全設備を導入することで、駐車設備と車の破損を防ぐ高い安全性も兼備しています。

す。優れた平面効率で、大型ハイルーフ26台と大型車20台の計46台の収容を実現。ターンテーブルの内蔵と180度トレイ旋回により、ハイスピードな入出庫も可能になりました。また、免振構造に対応したリフトを採用し、地震時の激しい揺れを軽減。

安全かつスピーディーな入出庫を 日精の「フレキシブルパーク」が実現

都営三田線「神保町」駅に直結する白山通り沿いにあり、曜日や時間帯に関係なく交通量や人通りが多い立地の特性上、駐車設備は安全かつスピーディーに車の入出庫を行える必要があります。その要望に応えたのが、日精の水平循環方式「フレキシブルパーク」で

間をつくること」をコンセプトに計画され、地上1階と地下1階の中間階で免震構造を採用。建物と地盤の免震クリアランスを確保するために、1階と2階の建物面積を狭くし、外壁を斜めにすぼめているのが特長です。また、外壁はコンクリート壁に外断熱を施し、空調は躯体輻射冷暖房を採用。温度変化が少ない室内環境をめざした省エネルギーの建物となっています。地上1階の建物正面には、新たにカフェも入店。11月7日にオープンした「ミカフェート 一ツ橋店」は、コーヒー専門店「ミカフェート」が本格的なフードメニューを提供する新業態の1号店ということで、神保町で働く人々を中心に早くも人気を集めています。

それから3年の歳月を経てついに完成した新社屋は、地下2階・地上10階、延床面積は約1万7910平方メートル。「地震に強い建物にすること」「長時間稼動するオフィスで省エネルギー」と快適なオフィスをつくること「限られた敷地面積内で最大限のオフィス空

『週刊少年サンデー』や『ビッグコミック』などの発行元として知られる大手総合出版社、小学館。「世界一の本の街」神保町に建つその本社ビルが2016年9月30日、先進的な機能を備えて生まれ変わりました。

2013年9月の建物解体に先立ち、藤子不二雄Aさんや浦沢直樹さんら同社にゆかりの深い漫画家が1階応接ロビーの壁面や窓ガラスに描いた落書きを「ありがとう！小学館ビルラックガキ大会」として一般公開するや、約8000人の漫画ファンが訪れ、大きな話題となったのを覚えている方も多いのではないだろうか。

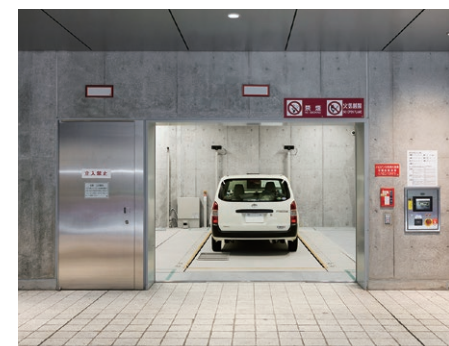
先進的な機能を備えた新社屋が 「世界一の本の街」に完成

小学館新社屋



小学館新社屋外観

- 【建築概要・規模】 ■ 建築主 / 株式会社小学館
■ 敷地面積 / 2,318.39㎡ ■ 建築面積 / 1,661.71㎡
■ 延床面積 / 17,799.15㎡ ■ 構造規模 / 地上10階、地下2階
■ 設計・施工 / 株式会社日建設計
- 【駐車設備概要】 ■ 機種 / 水平循環方式フレキシブルパーク
■ 型式 / FLX1LSRH2-46(6) FDHT-BM
■ 収容車サイズ / 5,300L×1,950W×1,550/2,000H×2,500kg
■ 収容台数 / 大型ハイルーフ26台 / 大型車20台 合計46台収容



乗込口スペースオートドア開閉時